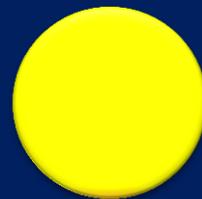


第68回「ゲーテの会」



未来に向かう人類の英知を探る
— 時代の裂け目の中で、人々は何に希望を見出してきたか —

《科学・技術分野》

「江戸のダ・ヴィンチ、司馬江漢」

講師：総合研究大学院大学名誉教授 池内 了 先生

【講演要旨】私は、かつて『科学のこれまで 科学のこれから』という短い本を書いた（岩波ブックレット）。これまでの100年の間の科学の「異様な」発達を見ながら、これからの100年先の科学の行き方について書いたもので、そこでは「文化」としての科学の典型として博物学を取り上げた。

ゲーテの会で話題にするのは司馬江漢である。彼は日本画の屈指の画家なのだが、日本で最初にエッチングを発明した上に洋画にも手を出し、さらに科学では地動説を唱導し宇宙論へも踏み入っている。当時の天文学は暦学に終始して宇宙の構造には関心がなかったのだが、江漢はまさに博物学的好奇心を発揮して窮理学に、そして天文学に造詣を深めたのである。また、同時代の山片蟠桃は金貸しの番頭でありながら、人間が宇宙のあちこちに生きる宇宙像を展開している。

自分の専門の職業でちゃんとした仕事をした上で、科学の素人でありながら宇宙に関心を持った江漢（や蟠桃）の生き様を振り返りながら、なぜ江戸時代に博物学が隆盛であったのかを考えてみたい。

【講師紹介】1944年兵庫県生まれ。京都大学理学部物理学科卒業。同大大学院理学研究科物理学専攻博士課程修了。博士（理学）。『科学の考え方・学び方』で講談社出版文化賞科学出版賞（現・講談社科学出版賞）受賞。『物理学と神』『科学・技術と現代社会上・下』『科学の限界』『ねえ君 不思議だと思いませんか？』『科学者と戦争』『科学者と軍事研究』など著書多数。

【参考図書】ご講演の内容の理解を促進するために次の図書が有益です。

池内 了著『司馬江漢—「江戸のダ・ヴィンチ」の型破り人生』（集英社新書、2018年刊）

どなたでもご参加いただけます。ぜひ、お誘いあわせの上ご参加ください。

日時：2019年2月20日（水）18:00～20:30

会場：公益財団法人国際高等研究所

参加費：2,000円（交流・懇談会費用を含む）

定員：40名（申し込みが定員を超えた場合は抽選）

申込：高等研のHPからお申込みください

<http://www.iias.or.jp/communication/goethe>

締切：2019年2月19日（火）

問い合わせ先：公益財団法人国際高等研究所 京都府木津川市木津川台9-3

ゲーテの会事務局 TEL：0774-73-4000 E-mail：goethe0828@iias.or.jp



けいはんな「ゲーテの会」とは・・・

けいはんな学研都市の建設理念は、「従来の近代科学技術文明を乗り越え、新たな地球文明を創造するために、西欧が生み出した文明の成果と自らに固有の東洋的文化を総合する」ことにあります。高等研にあるゲーテの胸像はその理念のシンボルです。満月の夜は高等研で、人類の未来と幸福・けいはんな学研都市の将来について一緒に考えてみませんか。